

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ①ユネスコアジア文化センター（ACCU）による国際協働学習プロジェクト「ESD Food Project」への参加（2学年選択授業での取り組み）
 - ・国内プロジェクト参加校4校の担当者とACCUによる事前ワークショップ・打ち合わせを経て、「持続可能なライフスタイル」をテーマに「生産・消費サイクル」に焦点を合わせて国際協働学習を実施することに合意。
 - ・ACCUによるコーディネートにより、SMK Wikrama Bogor（インドネシア）とDELHI PUBLIC SCHOOL, NACHARAM（インド）と連携し、担当生徒が連携校の生徒とインターネット（Skype/メール）により交流及び食に関する情報交換等を行った。
 - ・ACCUが開発した協働学習のための枠組みである「HOPE Framework」に準拠して「食品廃棄」の問題に焦点を当て学習を行った。課題設定後、地域の商業施設へのインタビュー、連携校と協働してのアンケート調査、食品ロスに関する調べ学習等を実施。地域の中学生に研究報告を行うとともに、研究成果を報告書としてまとめた。
 - ・広島市立大学より講師を招き、ESDの視点から「食」に関する授業をしていただいた。
- ②サステイナブルスクールへの参画
 - ・「日本/ユネスコパートナーシップ事業」における「ESD重点校事業」に参画し、多様なセクターと連携してESD推進に取り組んでいる。
- ③オーストラリア短期留学研修の実施（1・2年留学研修参加者の取組）
 - ・St John's Grammar School（オーストラリア・アデレード市）との連携により、留学研修を実施した。
 - ・参加生徒は、現地のアボリジニーに関する歴史博物館を訪問し、先住民族の人権に関する学習を行うとともにアボリジニーアートの作成を通してその文化に触れる学習を行った。
 - ・帰国後、1学年集会において研修内容の報告会を開催した。
- ④オーストラリアからの短期留學生徒の受け入れ（全校生徒及び代表生徒）
 - ・St John's Grammar Schoolからの生徒を受け入れ、本校生徒と共に原爆ドーム・資料館・平和公園での平和学習を実施した。
- ⑤韓国からの生徒使節団受け入れ（生徒会）
 - ・全国総合文化祭の国際交流団として来日した大真女子高等学校（韓国）の代表を招き、日韓友好親善にむけたレセプションを実施した。
- ⑥英字新聞“The Yasufuruichi Times”の作成（2学年生徒全員）
 - ・生徒の取材・記事作成・紙面作成による英字新聞を作成した。
 - ・国際交流の内容や意義を記した新聞となった。
- ⑦パネルディスカッションの実施（3学年生徒全員）
 - ・3学年の総合的な学習の時間において「持続可能な社会の実現を目指して」をテーマにパネルディスカッションを実施した。
 - ・それらの討議内容を踏まえて、3学年全体では「地球温暖化」と「資源エネルギー問題」をテーマに識者を招きパネルディスカッションを行った。
 - ・事後学習では、SDGsを念頭に生徒が提案型の論文作成に取り組んだ。

⑧教育講演会の実施（2・3学年生徒全員）

- ・ 広島市立大学の先生を講師に招き「これからの社会にもとめられるもの～ESDの視点から見えてくるもの～」というテーマで講演会を実施した。社会のあり様を環境・経済・社会生活の三側面から統合的にみることで、持続可能な社会の実現が可能になることを学んだ。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 夏季休業中, 休日 ）